



耳をすませば ～ふたつの大震災から～

東日本大震災から約1年半になります。被災地は
いま、何を語りかけているのか? 巨大災害に、私たち
はどう立ち向かえばよいのか? 巨大災害で、若者や
大学が果たす役割は何なのか? 今日の課題を探り、
明日の希望を確実にしたい——。このフォーラムで、
とことん考えたいと思います。

■日 時: **2012年9月30日(日)**

13時～(開場: 12時15分～)

■会 場: **メルパルク京都**

(JR京都駅(烏丸中央改札口)右手に徒歩すぐ)

■定 員: 300人(参加費無料、事前申込制)

■問い合わせ先

朝日新聞大阪本社広告局内「フォーラムin京都」事務局
(06-6201-8311、平日午前10時～午後5時)へ。

■主 催: 関西学院大学 後 援: 朝日新聞社

■申し込み方法

はがき、ファクス、メールのいずれかで、郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、同伴者の有無(1人まで)、講師への質問(任意)を明記して、〒530-8612(住所不要) 郵便事業株式会社大阪支店 私書箱191号 朝日新聞社広告局「フォーラムin京都」係へ。ファクスは06-6227-9597、メールはkyouiku-k@asahi.comへ。9月13日必着。応募多数の場合は抽選とし、当選者には聴講券をお送りします。

PROGRAM

●**基調講演** 13時5分～

平田オリザ氏(劇作家・演出家)

1962年生まれ。高校を休学し自転車による世界一周旅行を敢行。大学在学中に結成した劇団「青年団」を率いて、こまばアゴラ劇場を拠点に活動。「東京ノート」で岸田國士戯曲賞、「その河をこえて、五月」で朝日舞台芸術賞グランプリ受賞。フランスを中心に世界各国で作品が上演・出版されている。そのワークショップの方法論は小中学校の国語教科書にも採用され、多くの子ども達が教室で演劇を創作する体験を行っている。2009～11年に内閣官房参与を務めた。

●**学生パフォーマンス** 13時55分～

関西学院交響楽団 弦楽四重奏

●**被災地支援活動の報告** 14時25分～

徳永由香里(教育学部2年生)「一歩スマイルプロジェクト」代表

●**パネルディスカッション** 14時35分～16時

パネリスト/室崎益輝(関西学院大学教授・災害復興制度研究所長)、平田オリザ氏(劇作家・演出家)、兼子佳恵氏(NPO法人石巻復興支援ネットワーク代表理事)
コーディネーター/松田曜子(関西学院大学災害復興制度研究所特任准教授)



撮影:青木司